

# 南アフリカの政策金利引き上げについて

## ポイント① 政策金利を6.75%に引き上げ

1月28日、南アフリカ準備銀行（中央銀行）は金融政策決定会合において、政策金利であるレポレート<sup>1</sup>を0.50%引き上げ、6.75%とすることを決定しました。市場の大半は今回の利上げを予想していましたが、利上げ幅は0.25%か0.50%かで、見方が分かれていました。利上げは、2会合連続となります。

## ポイント② インフレ見通しの悪化に対応

同中銀は利上げの理由として、通貨ランドの下落や食料品価格の上昇などにより、インフレ見通しが大きく悪化していることを指摘しています。

ランドは、中国の景気減速懸念などを背景に、前回の金融政策決定会合時から対米ドルで13.5%下落しました。また、干ばつによる食料品価格の上昇などを受け、2015年12月のインフレ率は、5.2%と前月から加速しました。

このような状況のもと、同中銀は、2016年1-3月期にインフレ率が目標上限である6%を突破すると予想しています。また、2016年と2017年のインフレ率見通しをそれぞれ6.8%（従来は6.0%）、7.0%（同5.8%）に上方修正しました。

一方で、景気の弱さにも触れ、2016年と2017年の経済成長率見通しをそれぞれ0.9%（従来は1.5%）、1.6%（同2.1%）に下方修正しました。

同中銀は高インフレと低成長というジレンマに直面する中、難しい舵取りを迫られています。

## ポイント③ 南アフリカランドは上昇

今回の決定を受けて、1月28日のニューヨーク外国為替市場では、対米ドルで前日比1.5%程度、対円で同1.7%程度の南アフリカランド高となりました。

図1：政策金利の推移

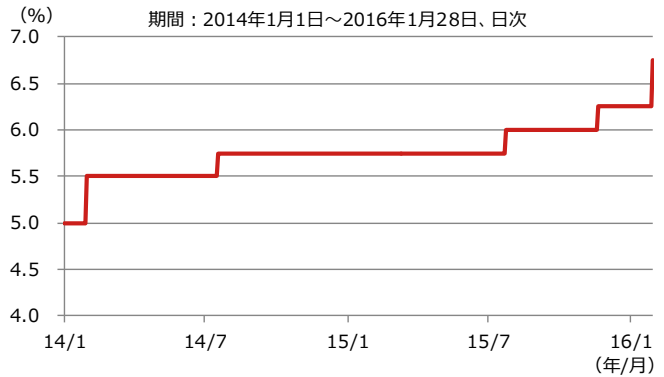


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

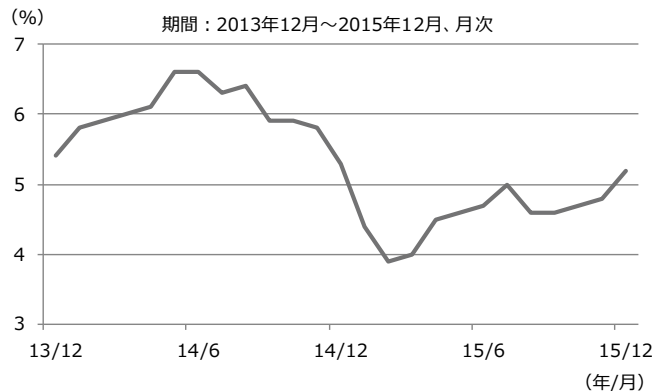
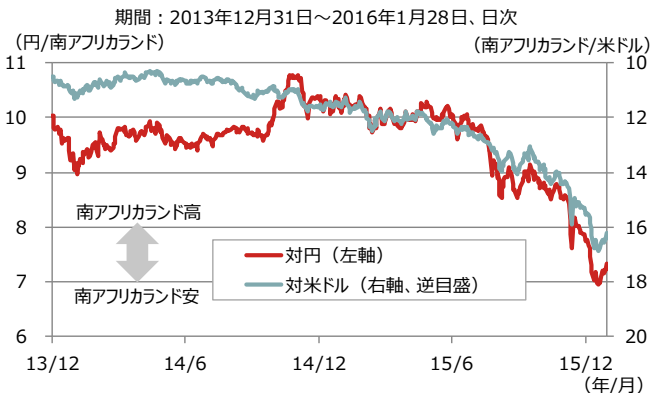


図3：為替レートの推移



（出所）ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

重要  
イベント

1月29日	貿易収支（12月）
2月17日	消費者物価指数（1月）
3月17日	金融政策発表